

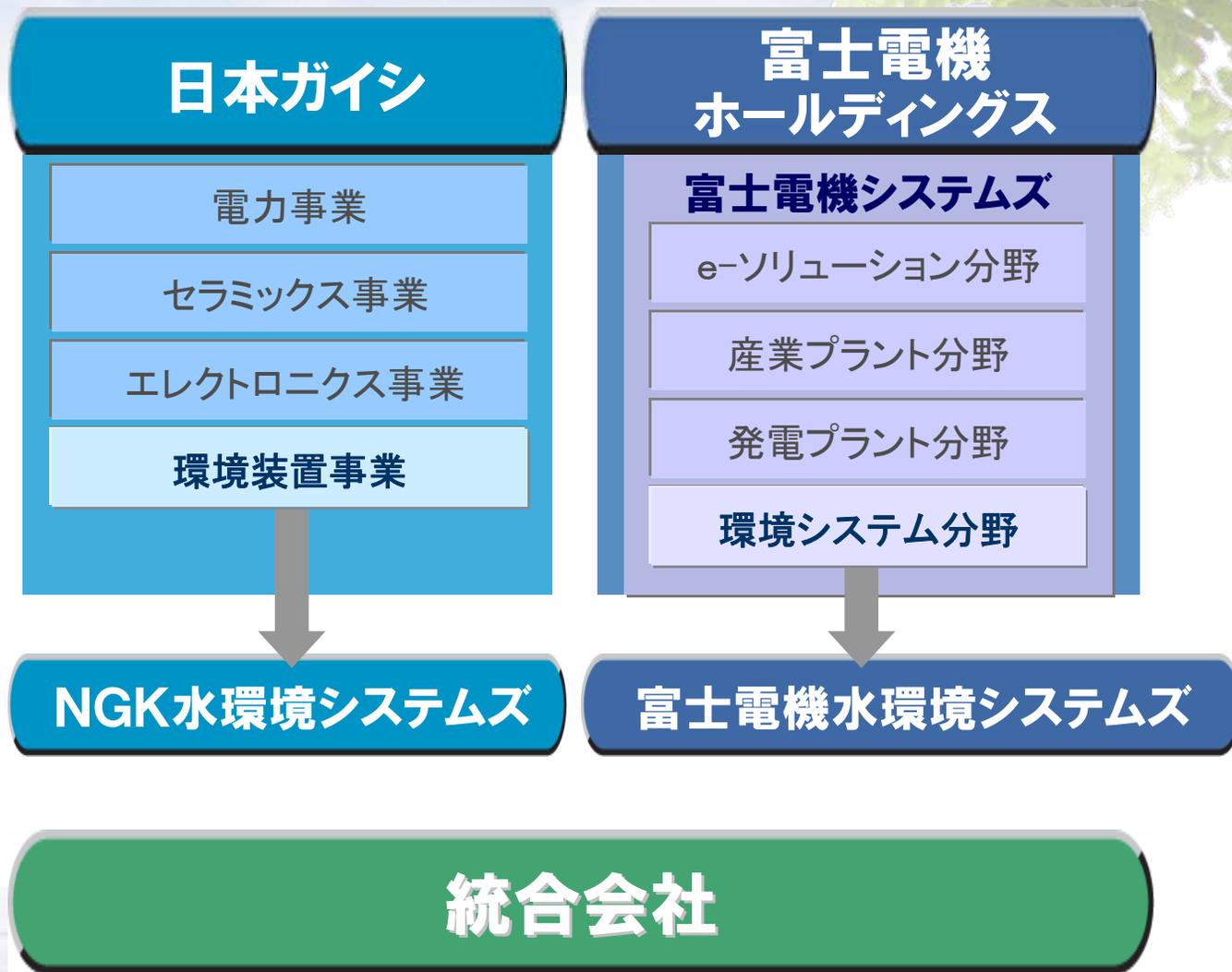


事業統合の背景と概要

日本ガイシ
代表取締役社長

松下 雫

事業統合のスキーム



日本ガイシ と 富士電機システムズ が各50%出資

両社の水環境事業

日本ガイシ

機械設備



下水汚泥焼却プラント



セラミック膜浄水システム

富士電機

電機設備



センサー



オゾン発生装置



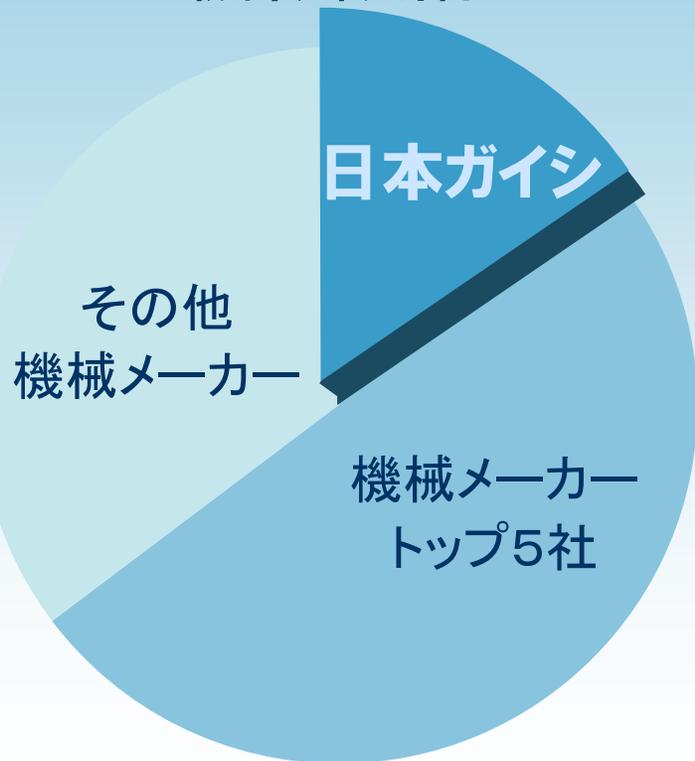
制御機器

浄水場や下水処理場などで使用される
各種設備の設計、製造、施工

上下水処理分野におけるトップメーカー

日本ガイシ

機械設備



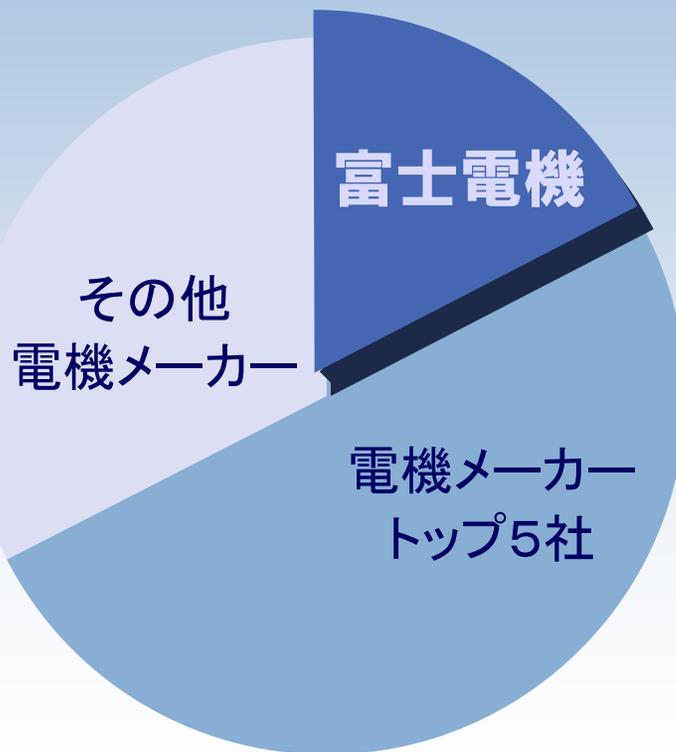
日本ガイシ

その他
機械メーカー

機械メーカー
トップ5社

富士電機

電機設備



富士電機

その他
電機メーカー

電機メーカー
トップ5社

2003～2005年度 平均受注額ベース（自社調べ）

業界トップの事業統合

日本ガイシ

機械設備の
トップメーカー

富士電機

電機設備の
トップメーカー

事業統合

統合会社

水処理分野の
リーディングカンパニー

これからの水環境事業

循環・再生・造水





事業統合のねらいと将来ビジョン

富士電機ホールディングス
代表取締役社長

伊藤 晴夫

目指すポジション

新たな市場へ

海外
数十兆円

国内
数兆円

国内
5000億円

機械・電機

水環境事業 全般

目指すポジション

グローバル企業へ



事業統合のねらいと将来ビジョン

事業規模の拡大

新製品・新技術開発の強化

総合エンジニアリング

事業規模の拡大

410億円

540億円

日本ガイシ

富士電機

市場規模
5000億円

約20%

統合会社

約1000億円の
売上規模に拡大

新製品・新技術開発の強化①

日本ガイシ

電力貯蔵技術



セラミック
膜ろ過技術



富士電機



発電・電力
制御技術

オゾン技術



両社の保有技術を組み合わせ
生産性の高いシステムを供給

機械・電機一体システム

新製品・新技術開発の強化②

日本ガイシ

- 焼却技術
- 水処理技術
- セラミック技術



富士電機

- 監視・制御技術
- 電力制御技術
- オゾン技術

シナジー効果

技術導入

アライアンス

共同開発

次世代の新製品・新技術

新事業モデル

地球規模の環境対応

総合エンジニアリング



他社とのアライアンスを推進し、全領域をカバー

総合水環境エンジニアリング会社

業績目標

	2008年度 統合初年度	2010年度 中期目標	2015年度 長期目標
売上高	950億円	1200億円	2000億円
営業利益	60億円	80億円	200億円
営業利益率	6%	7%	10%
人員	1650人		

次世代技術でソリューションを提供する
総合水環境エンジニアリング会社
をめざします。

